



「表参道が木造都市になるのも夢じゃない」
(作成 | team Timberize)

特集 | ここまでできる! 火に強い木造建築

「木材利用促進法が進むか国産材の需要拡大、急がれる標準設計手法と技術基準」

山梨知彦「内装、外装、構造は「木」。「一般化」を目指した木質建築の中身とは」

team Timberize「高層ビル、低層大型木造建築…。都市木造を夢物語で終らせない」

安井昇「木材は太く・厚く、現しに、無垢材の建具・格子が、火に強い住まいをつくる」

ワイス・ワイス「家具に国産材・認証材を多用、森林に自然のサイクルを取り戻す」

弘実和昭「防火に関する本質を知るには法律をシンプルにすること」

木材会館は地上7階、地下1階の建物であるが、最終的には、地上階の7階部分を階避難安全検証法と耐火検証法とを用いることで、木材を大量に利用しつつ法的な基準を満たすことができた(山梨知彦・日建設計)。アルミ防火戸の外側に木製格子をつける、屋外火災時に室内へ入る熱量が低減されることが加熱実験からわかっている。木製格子は加熱を受けると表面から順番に燃えるため、格子裏面の温度はなかなか上昇せず、結果的に格子の部分が影となり、室内への入射熱を低減する(安井昇・桜設計集団)。

モダニズム建築(19)

上野市庁舎(現・伊賀市役所)

—時間をかけて育まれた風景の行方

—松隈 洋



|| 小堀 徹

美しい構造設計の世界(18)
—
ワシントンダレス空港ターミナル他

|| 染谷ゆみ

2017年までに東京の廃食油を一滴残らず回収する

|| オビニオンの視線

|| 柚岡一禎

石綿被害は国の責任と判決
控訴に出た国の過ち

論評



オープンハウス(8)

シネマスタジオ

—古澤大輔